

CDC ダイヤモンドプリンセスからの帰国
メディア・ステートメント
(仮訳)

2020年2月15日

保健福祉省（HHS）は、現在ダイヤモンドプリンセスクルーズ船に乗って日本から米国に帰還したい米国市民を本国に送還するという国務省主導のミッションを支援しています。HHSは、すべてのアメリカ人の健康と安全の保護に取り組んでいます。米国市民に対する私たちの責任を果たし、日本の医療制度の負担を軽減するために、米国政府は、米国市民がさらなる観察のために下船して米国に戻ることを推奨しています。これらの措置は、病気の潜在的な広がりを制限するために私たちが制定した政策と一致しています。

ダイヤモンドプリンセスクルーズ船には、約400人の米国市民が乗船していません。アウトブレイクの状況の流動性が高いため、米国政府は、米国市民が下船して米国に戻ることを推奨しています。国務省によってチャーターされた航空便で帰還したアメリカ人は、14日間の連邦検疫の対象となり、送還者のための以下の2つの既存の連邦検疫施設に収容されます。

- ・カリフォルニアのトラビス空軍基地
- ・テキサス州サンアントニオ・ラックランド共同基地

日本から帰国する乗客は、以前の武漢からの本国送還便ですでに隔離されている個人とは別に収容されます。日本からのすべての旅行者は、有症状者が日本から出発するのを防ぐために、国務省公認の航空機に搭乗する前に検査されます。これらの飛行機は、乗客の健康を評価するために配備された米国政府職員のチームによって運用されます。乗客は、船を出る前に検査を受け、離陸前、飛行中、到着後を含め、道中のあらゆる段階で医療および公衆衛生担当者によって監視および評価されます。米国政府スタッフは、体温確認や呼吸器症状の観察など、各旅行者の健康を確保するためにリスク評価を実施します。

帰還者は、トラビス空軍基地への飛行中に監視され、すべての旅行者が再びスクリーニングされます。サンアントニオ・ラックランド合同基地に向かう乗客は、その飛行中も監視され、テキサスに到着したときにスクリーニングされます。

状況は常に変化しており、我々は、毎日このウイルスの詳細を学んでいます。私たちは、引き続き、新型コロナウイルス2019に一般国民がさらされる危険性

は低いと考えています。米国政府は、これらの本国送還されたアメリカ人を完全に評価し、手当をするためにこれらの措置を講じており、彼ら、彼らの愛する人々、及び彼らのコミュニティを保護しています。日本政府の並外れたケアとホスピタリティ、そして市民の保護と帰還のための支援について日本政府に深く感謝しています。